エコアクション21

環境経営レポート

令和3年12月~令和4年11月

令和4年12月13日 発行

(次回発行は2023年12月ごろ)





笹川建設 有限会社

SDGs宣言書

2023年3月23日



笹川建設有限会社 代表取締役 笹川 英治

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、 持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール
環境	ゴミ・廃棄物	未来の地球環境を守るため、 自社で排出する廃棄物の	① 廃棄物排出量の削減、リユース・リサイクルの 推進	8 825116 11 Hamiltona 12 Hamiltona
· 块块	削減	削減やリサイクル等の活動に 努めます。	② 2025年までに廃棄物排出量50%削減 (2013年度比)	9 年 度と社会高級の 12 つらを発在 つかう発出
環境・	環境マネジメント	未来の地球環境を守るため、環境活動および社内体制の	① ISO14001やエコアクション21等の 認証取得	9 年表と共和省年の 13 元年からかう 13 元年からか対象を
経済	[会・ システムの構筑	継続的改善に努めます。	② ISO14001維持·更新	12 OKRIE OKONE
社会・	シニア人材の	地域の高齢者が生き生きと 暮らせるように、高齢者が	① (1)高齢者の再雇用制度を就業規則にて 制定 (2)シニア人材の専門性・技術ノウハウの 継承	8 雅老年16
経済		定年を超えても継続して 働ける機会を創出します。	② (1)2024年度までに規程・方針を見直し、 全社員に通知 (2)年2回ワークショップの開催	11 demissa stocke
環境・社会・	災害・事故・	災害や事故等の有事に おいても、事業を復旧・	① (1)食糧・飲料水の備蓄 (2)防災訓練の実施	9 を変え仕事を対の 動物をつくろう
経済	事業リスクの 未然防止	継続するため、対応し得る 万全の準備を行います。	② (1)2024年度までに全社員分の備蓄を 完了 (2)防災訓練を3か月に1回開催	11 tradicinal reserve

SUSTAINABLE GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標(SDGs: Sustainable Development Goals)とは,2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された,2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール·169のターゲットから構成され,地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。

環境レポートの項目

事業概要	(1)
環境管理責任者氏名及び担当者氏名	(1)
連絡先	(1)
対象範囲(認証・登録範囲)	(1)
事業内容	(1)
事業規模	(1)
創業創立年月日	(1)
組織図	(1)
環境経営方針	(2)
環境経営目的・目標、環境活動計画の実績	(3)
実施体制	(4)
環境経営活動計画の具体的施策、取組結果・評価及び今年度の取組内容	(5)~(9)
次年度の環境経営目標	(10)
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	(11)
代表者による全体の評価と見直し	(12)

事 業 概 要

事業所名及び代表者氏名

笹川建設 有限会社 代表取締役 笹川 英治

環境<u>管理責任者氏名及び担当者氏名</u>

環境管理責任者 笹川 英治 EA21担当者 笹川 英治

連絡先

TEL 0883-87-2659 FAX 0883-87-2760

E-mail: eiji-sasagawa@sasagawakensetu.co.jp

<u>対象範囲</u>

本社事務所 〒 778-0101 <u>1)サイト</u>

徳島県三好市西祖谷山村戸ノ谷88番地8

資材倉庫 〒 778-0101 徳島県三好市西祖谷山村戸ノ谷

<u>2)対 象 者</u>

当社従業員、協力会社

<u>3)活動・製品・サービス</u>

土木工事一式

事業内容

許可番号 徳島県知事許可 (特-01)第3015号 土木工事業、とび・土工工事業、石工事業 舗装工事業、水道施設工事業

<u>事業規模</u>

		1年度	2年度	3年度
活動規模	単位	令和1年12月~ 令和2年11月	令和2年12月~ 令和3年11月	令和3年12月~ 令和4年11月
売 上 高	百万円	110	220	485
従 業 員	人	8	7	7
事務所面積	m ²	32	32	32
資 材 倉 庫 面 積	m²	245.4	245.4	245.4

創業設立年月日 平成2年2月1日

環境経営方針

【基本理念】

笹川建設有限会社は自然に恵まれた徳島県西部に本社があり、この豊かな自然を次の世代へと受け継いでいくために環境問題を常に意識し、当社の事業活動である土木工事業を通じて自然豊かな西祖谷・徳島、地球規模の環境保全に努め、循環型社会に貢献するよう努めます。

【方 針】

- 1. 当社に適応した環境マネジメントシステム構築及び実施運用を行い、継続的 改善及び環境負荷の低減に努めます。
- 2. 当社の事業活動に関わる環境関連法令(条例を含む)及びその他要求事項を 遵守します。
- 3. 当社の事業活動に関わる環境影響のうち、以下の項目を環境経営重点テーマとして自主的、積極的に取り組みます。
- 4. 具体的な取組
- 1) 電力・燃料の消費の削減に積極的に取り組み、二酸化炭素排出量の削減に 努めます。
- 2) 建設廃棄物の発生の抑制、分別、再資源化を徹底するよう努めます。
- 3) 水使用量の削減をします。
- 4) 循環型社会に貢献するよう努めます。
- 5) 地域のボランティア活動等に取り組みゴミのない住み良い環境づくりに努めます。
- 6) 徳島県産材の間伐材使用の促進。
- 7) 工事現場の作業環境の向上、自然との調和・景観の保全。
- 8) この方針は当社全従業員及び協力会社に周知します。

制定 平成22年11月19日 改正 令和1年5月1日

笹川建設有限会社

代表取締役 笹川 英治

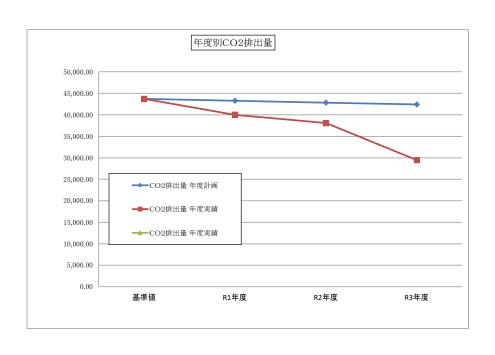
令和3年度CO2排出総量 29454.43 kg-CO2

環境経営目標

作成 笹川 英治 笹川 英治

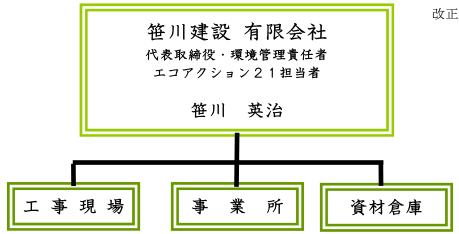
CO2排出量 △3.0%(毎年△1.0%) (今和1年度~今和3年度)及び実績・評価

		中期3万年	計画(令村	口年度~	令和3年度	:) 及び実績	漬∙評価	2022年12月13日		世川 吳石	世川 安心		
	CO2排出	- 量削減					目標			目的](方針の到達点)		
	取組	事項		∓度実績 :準)	令和1	年度		令和2年度			令和3年度		
	(負荷の自己	ユチェック)	(45	/	目標	実績	目標	実績	評価	目標	実績	評価	
電力排出係数	①電力	消費量	176.92	kWh	175.15	173.63	173.38	180.40	96%	171.61	192.60	89%	
=0.669		CO2排出量	118.36	kg-CO2	117.18	116.16	115.99	120.69	Δ	114.81	128.85	Δ	
平成27年度実 績	@47.H	消費量	660.30	Q	653.70	595.00	647.09	863.77	75%	640.49	721.25	89%	
調整後排出係	②灯油	CO2排出量	1,645.42	kg-CO2	1,628.97	1,481.55	1,612.51	2,150.79	×	1,596.06	1,795.91	Δ	
数	③軽油	消費量	9,114.05	l	9,022.91	9,612.31	8,931.77	9,053.08	100%	8,840.63	6,182.43	143%	
	②軽出	CO2排出量	23,918.37	kg-CO2	23,679.19	24,799.76	23,440.00	23,356.95	0	23,200.82	15,950.67	0	
	④ガソリン	消費量	7,768.99	Q	7,691.30	5,864.88	7,613.61	5,361.52	142%	7,535.92	4,990.95	151%	
	争のプラン	CO2排出量	18,036.95	kg-CO2	17,856.58	13,606.52	17,676.21	12,438.73	0	17,495.84	11,579.00	0	
					43,281.91	40,003.99	42,844.72	38,067.16		42,407.53	29,454.43		
	計	CO2排出量	43,719.10	kg-CO2	年度達成率	108%	年度達成率	113%	0	年度達成率	144%	0	
					基準達成率	109%	基準達成率	114%		基準達成率	148%		
		産業廃棄物	98%		100%	85%	100%	93%	Δ	100%	97%	Δ	
	廃棄物の発生 の抑制	施業物の発生 の抑制 適正処理 産業廃棄物 発生量		93%		97%	95%	97%	Δ	96.0%	97%	Δ	
				109.14t						105.86t	58.65t	0	
	資源の有 (ペットボトルの	蓋・プルタブ)	100%		100%	100%	100%	100%	0	100%	100%	0	
	資源の有 (出来形社内) 809	管理規格値	100%		100%	100%	100%	95%	Δ	100%	96%	Δ	
	アドプト	•	3	0	3回	3回	3回	3回	0	3回	3回	0	
	県産材間伐 (徳島県発		10	00%	100%	15%	100%	10%	×	100%	10%	×	
	工事現場の自然と(対象工	事全て)		00%	100%	100%	100%	100%	0	100%	100%	0	
		評価 反省と	マ年度への反6	快事項	総合評価	<u></u>	総合評価	0	B C +#	総合評価	○ ○		
	管責者 評価	<u>達成率</u> ×悪い △ままかま。 ○良い 当面の目標は 慌てずシステ。 3ケ年で達成で	100%以 、〇評価。 公運用を根付か	% 上	CO2の総排出」を達成すること上に、工事高原幅に目標を達成	ができている 単位でも大	を達成するこ 再資源化につ	O2の総排出量も年間とができている。廃棄 しいては根株等再資源 あるため、発注者と協	髪物の 原化で	電力の使用量・灯油の た。電力についてはを 増加が原因である。 がパカについては い、温水での洗浄時間 る。機械がの維持管理に を はにより使していく 適 があります。 は があります。 は は は は は は は は ま き る き は は き る き は き は き は り は ら る 。 し な 。 さ の た り と の た り に の た り た の た き り に の た り に り に り に り に り に り に り に り に り ら と ら と ら ら ら ら き し を し を し る し を し る し を と り と り と り と り と り と り と り と り と り と	を表、夏季のエアコンの 使用温度のこまめなチェ 、凍結防止剤散布日を 間が増えたため使用母に のため不必要な消費に いては目標を達成で 或していくため、不必要)使用時間の エックを行って 数の増加に伴 が増加してい はなっていな きている。エ な消費をしな	
		△時:是正	対策を行い次年										
	CO2排出品	左帝弘面	基準値	R1年度 43.281.91	R2年度	R3年度				評価項目			
						31.91 42,844.72 42,407.53 03.99 38,067.16 29,454.43					100%以上 〇 80%~99%		
					•					79%以下 ×			



実 施 体 制

平成22年11月19日 改正 平成30年 3月26日



主な役割・責任

- 1. 社長·環境管理責任者
 - ①EA21に関する最高責任者で、事業活動が確実に実施できるようにする。
 - 1)環境方針の策定、見直し及び全従業員に周知
 - 2) PDCAサイクルに必要な経営資源(人・設備・費用)を準備、提供する。
 - 3) 法規制類及びその他の要求事項の遵守評価を行い承認する。
 - 4) 社長による全体の評価、見直しを実施し、改善指示を行う。
 - 5) 環境活動レポートを承認し、公表する。
 - ②EA21マネジメントシステム構築、実施運用、改善等PDCAサイクルを 確実に回し、効果を上げる。
 - 1)環境方針を全従業員に周知徹底する。
 - 2) 適用する法規制類等の最新版の特定及び一覧表に整備し関係者に周知 する。定期的に遵守評価を行い結果を社長及び全従業員に周知する。
 - 3)環境目標、環境活動計画を策定し、全従業員に周知する。
 - 4)環境活動計画の3ケ月毎の進捗管理を行い、計画達成に向けシステムを 運用管理する。
 - 5)教育訓練の計画立案及び実施運用を行い、人材育成に努める。
 - 6)全体の評価・見直し結果を全従業員に周知する。 (インプット情報及び社長改善指示の対策・周知)
- 2. エコアクション21担当者

関環管理責任者の補佐役。EA21に必要な資料関係の整備。

- 1)環境への負荷及び取組み自己チェックを行い、環境方針及び環境目標等へ反映する。
- 2)環境目標、環境活動計画の毎月の進捗管理を行い、実績をデータ入力。
- 3)教育訓練計画の進捗管理を行い、実績をデータ入力する。
- 4)作業手順書を作成する。
- 5)環境目標、環境活動計画を達成する。
- 6) 適用する適用する法規制類等の最新版の特定及び一覧表に基づいた作業を 部下に指示及び遵守を実行する。
- 7) 緊急事態への準備及び対応の作業手順書を作成し、テストを行い、最悪 起こった事故及び緊急事態時の最少限の被害に抑えるよう実践する。
- 8) 作業手順書、社内ルールの運用管理。
- 9) 問題発生時、原因、是正処置及び予防処置を環境管理責任者に報告する。
- 10) 『安全は、全ての作業に優先する』を繰返し指導し、安全管理に努める。
- 11)環境活動レポートを作成し、社長承認を得る。

3. 従業員

- 1)環境方針の理解と環境保全への取り組みの重要性を自覚し活動する。
- 2) 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する。
- 3)環境改善への意見提案や異常時の上司への報告

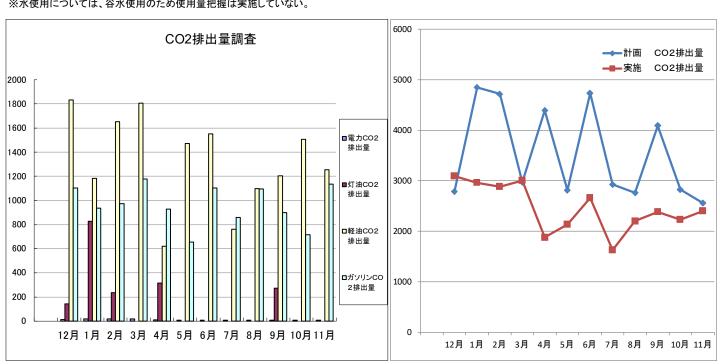
環境経営目標の具体的施策、取組結果・評価及び今後の取組内容

令和3年12月~令和4年11月

エコアクション21 実績データ(3年度実績)

1	CO2排出量(kg-CO2)	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計
1)	電力消費量 kWh	16.75	25.92	25.01	27.20	15.55	11.65	10.91	12.08	12.59	10.72	10.99	13.23	192.60
	電力CO2排出量	11.21	17.34	16.73	18.20	10.40	7.79	7.30	8.08	8.42	7.17	7.35	8.85	128.85
2)	灯油消費量 ℓ	57.25	332.00	95.00	0.00	127.00	0.00	0.00	0.00	0.00	110.00	0.00	0.00	721.25
	灯油CO2排出量	142.55	826.68	236.55	0.00	316.23	0.00	0.00	0.00	0.00	273.90	0.00	0.00	1,795.91
3)	軽油消費量 ℓ	710.82	458.27	641.44	700.45	241.01	570.51	601.63	295.00	425.64	467.01	584.03	486.62	6,182.43
	軽油CO2排出量	1,833.92	1,182.34	1,654.92	1,807.16	621.81	1,471.92	1,552.21	761.10	1,098.15	1,204.89	1,506.80	1,255.48	15,950.67
4)	ガソリン消費量	475.01	403.25	419.83	507.81	399.72	281.92	475.51	370.33	471.81	387.34	308.70	489.72	4,990.95
	ガソリンCO2排出量	1,102.02	935.54	974.01	1,178.12	927.35	654.05	1,103.18	859.17	1,094.60	898.63	716.18	1,136.15	11,579.00
5)	計画 CO2排出量	2,786.30	4,846.61	4,715.28	2,968.97	4,389.79	2,811.18	4,733.39	2,924.35	2,760.27	4,088.91	2,825.55	2,556.92	42,407.53
6)	実施 CO2排出量	3,089.70	2,961.90	2,882.20	3,003.48	1,875.79	2,133.76	2,662.69	1,628.35	2,201.17	2,384.59	2,230.33	2,400.48	29,454.44
2	産業廃棄物 (t)	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計
1)	産業廃棄物発生量	0	0	0	8.67	0	15.88	11.44	0	17.75	0	1	3.91	58.65
_,	コンクリート	0	0	0	8.67	0	15.88	11.44	0	17.75	0	0	3.41	57.15
-,	アスファルト・コンクリート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
3)	木くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	1	0.5	1.50
4)	金属くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
5)	最終排出量	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	1	0.5	1.50
6)	リサイクル率				100%		100%	100%		100%		0%	87%	97%
3	特別管理産業廃棄物(t)	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計
1)														0
2)														0
3)	最終排出量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	一般廃棄物(kg)	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計
1)	一般廃棄物発生量	2.00	1.00	1.00	2.00	1.00	1.00	1.00	2.00	1.00	1.00	1.00	1.00	15.00
	紙類	1.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.00
3)		0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	6.00
4)	ペットボトル、プラごみ	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	6.00
5)	最終排出量	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50
6)	再生利用率	85%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	90%	100%	100%	100%	100%	97%
5	紙資源 (枚)	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計
1)	コピー用紙使用量	125	225	569	587	256	125	325	685	85	125	356	123	3586

※水使用については、谷水使用のため使用量把握は実施していない。



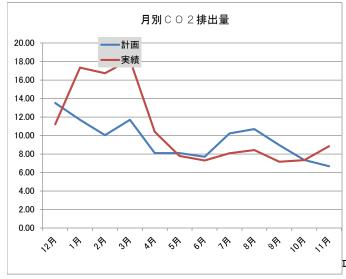
環境経営計画

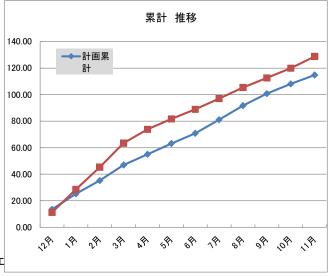
電力 令和3年度 電力・CO2排出量△3.0% 実施計画及び実績・評価

令和3年度 電力・Co	U2排迁	≟重△	3.0%													-,
立案のポイント		I-1-		12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計
地球温暖化防止に貢献。	kWh	計画		20.20	17.50	15.00	17.50	12.10	12.10		15.30	16.00	13.41	11.00	10.00	171.61
		<u> </u>	累計	20.20	37.70	52.70	70.20	82.30	94.40	105.90	121.20	137.20	150.61	161.61	171.61	
省エネ活動を具体的に 達成手段として示すこと	kWh	実績		16.75	25.92	25.01	27.20	15.55	11.65	10.91	12.08	12.59	10.72	10.99	13.23	192.60
			累計	16.75	42.67	67.68	94.88	110.43	122.08	132.99	145.07	157.66	168.38	179.37	192.60	
		計画		13.51	11.71	10.04	11.71	8.09	8.09	7.69	10.24	10.70	8.97	7.36	6.69	114.81
	Ē	画累	Ħ	13.51	25.22	35.26	46.96	55.06	63.15	70.85	81.08	91.79	100.76	108.12	114.81	
CO2排出量		実績		11.21	17.34	16.73	18.20	10.40	7.79	7.30	8.08	8.42	7.17	7.35	8.85	128.85
(Kg-CO2)		[績累]	•	11.21	28.55	45.28	63.47	73.88	81.67	88.97	97.05	105.47	112.65	120.00	128.85	
		別達成		121%	68%	60%	64%	78%	104%	105%	127%	127%	125%	100%	76%	
	累	計達成	这率	120.6%	88.4%	77.9%	74%	75%	77%	80%	84%	87%	89%	90%	89%	
月別評価(100%以上5点、80) ~ 99%3,	点、79%以	以下1点)	5	1	1	1	1	5	5	5	5	5	5	1	
累計評価(100%以上5点、80) ~ 99%3,	点、79%以	以下1点)	5	3	1	1	1	1	1	3	3	3	3	3	
1.使用電力の情報収集(毎		計画	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
月の使用量を把握)		実績		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
2.不要な照明の消灯 (自然 光を利用。昼休み時の消		計画	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
元を利用。昼休み時の月 灯)		実績		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
3.空調の適温化		計画	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
冷房28℃ 暖房22℃		実績		5	3	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
4.省エネタイプのOA機器の		計画	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
導入に努める		実績		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
		計画	0													
		実績														
		計画	0													
		実績														
		計画	0													
		実績														
月別実施状況評価(良い5点	、まあまる	あ3点、悪	悪い1点)	5.0	4.5	4.5	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5	5	5	
達成率及び実施な	犬況の全	全体評			5.5			6.0			8.0			8.0		
連成学及び美地状況の主体計画 理責任者:評価方法 成度5点+実施状況5点=10点満点 良い 8~10点 まあまあ 5~7点 悪い 2~4点				1月・2月は暖房の使用量の増加によ			年度末により 加したため電 るが、不要な	力の使用量	が増えてい	冷房の温度で 目標を達成で				ている。適切		
平価7点以下の場合には、是正・対策を行い、 収期へ反映する。				温度の設定	定を管理す	ა	電気の消	が大を徹底	まする。							

累計推移

	区分	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
電力	計画	13.51	11.71	10.04	11.71	8.09	8.09	7.69	10.24	10.70	8.97	7.36	6.69
电刀	実績	11.21	17.34	16.73	18.20	10.40	7.79	7.30	8.08	8.42	7.17	7.35	8.85
灯油	計画	0.00	0.00	996.77	19.94	323.95	0.00	137.06	0.00	0.00	0.00	0.00	118.34
为加	実績	142.55	826.68	236.55	0.00	316.23	0.00	0.00	0.00	0.00	273.90	0.00	0.00
軽油	計画	1,495.87	3,674.08	2,361.91	1,312.17	1,968.26	1,154.71	3,149.21	1,312.17	1,495.87	2,361.91	1,889.52	1,025.15
半土/田	実績	1,833.92	1,182.34	1,654.92	1,807.16	621.81	1,471.92	1,552.21	761.10	1,098.15	1,204.89	1,506.80	1,255.48
ガソリン	計画	1,276.91	1,160.83	1,346.56	1,625.16	2,089.49	1,648.38	1,439.43	1,601.95	1,253.70	1,718.03	928.66	1,406.74
13772	実績	1,102.02	935.54	974.01	1,178.12	927.35	654.05	1,103.18	859.17	1,094.60	898.63	716.18	1,136.15
計	計画	2,786.30	4,846.61	4,715.28	2,968.97	4,389.79	2,811.18	4,733.39	2,924.35	2,760.27	4,088.91	2,825.55	2,556.92
п	実績	3,089.70	2,961.90	2,882.20	3,003.48	1,875.79	2,133.76	2,662.69	1,628.35	2,201.17	2,384.59	2,230.33	2,400.48
累計	計画	2,786.30	7,632.91	12,348.19	15,317.16	19,706.96	22,518.14	27,251.53	30,175.88	32,936.15	37,025.06	39,850.61	42,407.53
糸司	実績	3.089.70	6.051.59	8.933.80	11.937.27	13.813.06	15.946.83	18,609,51	20.237.86	22.439.03	24.823.62	27.053.95	29,454,44

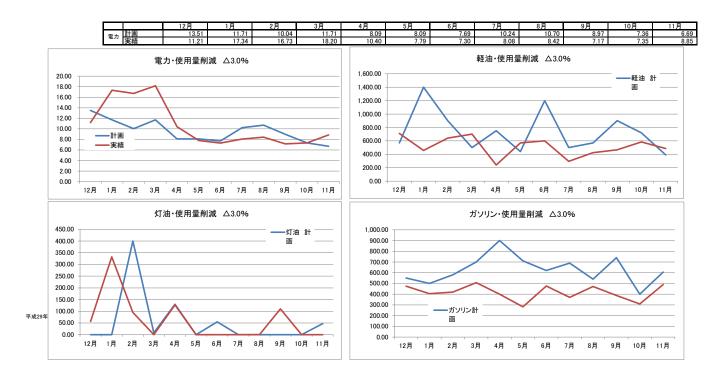




燃料

環境経営計画

令和3年度 燃料·CO	2排日	は童 △3.09												
立案のポイント			12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
		灯油 計画	0.00	0.00	400.00	8.00	130.00	0.00	55.00	0.00	0.00	0.00	0.00	47.49
	Q	累計	0.00	0.00	400.00	408.00	538.00	538.00	593.00	593.00	593.00	593.00	593.00	640.49
	*	実績	57.25	332.00	95.00	0.00	127.00	0.00	0.00	0.00	0.00	110.00	0.00	0.00
灯油 軽油 ガソリン		累計	57.25	389.25	484.25	484.25	611.25	611.25	611.25	611.25	611.25	721.25	721.25	721.25
消費削減で地球温暖		軽油 計画	570.00	1,400.00	900.00	500.00	750.00	440.00	1,200.00	500.00	570.00	900.00	720.00	390.63
化防止に貢献。	Q	累計	570.00	1,970.00	2,870.00	3,370.00	4,120.00	4,560.00	5,760.00	6,260.00	6,830.00	7,730.00	8,450.00	8,840.63
使用部署の徹底した	×	実績	710.82	458.27	641.44	700.45	241.01	570.51	601.63	295.00	425.64	467.01	584.03	486.62
省エネの推進。 効率の良い運用で経		累計	710.82	1,169.09	1,810.53	2,510.98	2,751.99	3,322.50	3,924.13	4,219.13	4,644.77	5,111.78	5,695.81	6,182.43
営効果をあげる。		ガソリン計画	550.00	500.00	580.00	700.00	900.00	710.00	620.00	690.00	540.00	740.00	400.00	605.92
	Q	累計	550.00	1,050.00	1,630.00	2,330.00	3,230.00	3,940.00	4,560.00	5,250.00	5,790.00	6,530.00	6,930.00	7,535.92
	×	実績	475.01	403.25	419.83	507.81	399.72	281.92	475.51	370.33	471.81	387.34	308.70	489.72
		累計	475.01	878.26	1,298.09	1,805.90	2,205.62	2,487.54	2,963.05	3,333.38	3,805.19	4,192.53	4,501.23	4,990.95
		月別計画	0.00	0.00	996.77	19.94	323.95	0.00	137.06	0.00	0.00	0.00	0.00	118.34
灯油 CO2排出量	kg	計画累計	0.00	0.00	996.77	1,016.71	1,340.66	1,340.66	1,477.71	1,477.71	1,477.71	1,477.71	1,477.71	1,596.06
万油 602排出車	CO2	月別実績	142.55	826.68	236.55	0.00	316.23	0.00	0.00	0.00	0.00	273.90	0.00	0.00
		実績累計	142.55	969.23	1,205.78	1,205.78	1,522.01	1,522.01	1,522.01	1,522.01	1,522.01	1,795.91	1,795.91	1,795.91
		月別計画	1,495.87	3,674.08	2,361.91	1,312.17	1,968.26	1,154.71	3,149.21	1,312.17	1,495.87	2,361.91	1,889.52	1,025.15
軽油 CO2排出量	kg	計画累計	1,495.87	5,169.95	7,531.86	8,844.03	10,812.28	11,966.99	15,116.20	16,428.37	17,924.24	20,286.15	22,175.67	23,200.82
軽油 CO2排出重	CO ₂	月別実績	1,833.92	1,182.34	1,654.92	1,807.16	621.81	1,471.92	1,552.21	761.10	1,098.15	1,204.89	1,506.80	1,255.48
		実績累計	1,833.92	3,016.25	4,671.17	6,478.33	7,100.13	8,572.05	10,124.26	10,885.36	11,983.51	13,188.39	14,695.19	15,950.67
		月別計画	1,276.91	1,160.83	1,346.56	1,625.16	2,089.49	1,648.38	1,439.43	1,601.95	1,253.70	1,718.03	928.66	1,406.74
ガソリン CO2排出量	kg	計画累計	1,276.91	2,437.74	3,784.31	5,409.47	7,498.96	9,147.34	10,586.77	12,188.72	13,442.41	15,160.44	16,089.10	17,495.84
カノリン 602排出重	CO2	月別実績	1,102.02	935.54	974.01	1,178.12	927.35	654.05	1,103.18	859.17	1,094.60	898.63	716.18	1,136.15
		実績累計	1,102.02	2,037.56	3,011.57	4,189.69	5,117.04	5,771.09	6,874.28	7,733.44	8,828.04	9,726.67	10,442.85	11,579.00
	ā	画 累計	2,772.79	7,607.69	12,312.93	15,270.20	19,651.90	22,454.99	27,180.68	30,094.80	32,844.37	36,924.30	39,742.49	42,292.72
歴める社 2004年11日	庚	運績 累計	3,078.49	6,023.05	8,888.52	11,873.80	13,739.19	15,865.16	18,520.54	20,140.81	22,333.56	24,710.97	26,933.96	29,325.59
燃料合計 CO2排出量	月	別達成率	90%	164%	164%	99%	235%	132%	178%	180%	125%	172%	127%	107%
	累	計達成率	90%	126%	139%	129%	143%	142%	147%	149%	147%	149%	148%	144%
月別評価(100%以上5点、80~	99%3点	i、79%以下1点)	3	5	5	3	5	5	5	5	5	5	5	5
累計評価(100%以上5点、80~	99%3点	i、79%以下1点)	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
達成率及び実施状況	兄の全	体評価		4			4			5			5	
理責任者: 評価方法 良い 5点 まあまあ 3〜4点 悪い 1〜2点			工事現場が事系 ンの使用量も目			目標を達成でき	:ている。		目標を達成でき	ている。		目標を達成でき	ている。	
平価1〜2点以下の場合には、是正・対策を行い、 灾期へ反映する。														



環境経営計画

令和3年度 燃料·CO2排出量 △3.0%

						実施	状況の	計画及び	`実績·詔	严価							
達成手段	担当	区分	分	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	備	考
连队士权	ᄪᆿ	区分	分														
1. アイドリングストップの励		計画	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
行		実績		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		
2. 走行距離の短縮		計画	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
2. 足打距離の短帽		実績		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		
3. 急発進・急加速をしない	全員	計画	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	L	
(エコドライブ運転)	工具	実績		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		
4. 効率的な車両の利用		計画	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
(乗り合せ等・・・)		実績		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	<u> </u>	
5.重機への過負荷の防止		計画	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
5.主版、107. 题页间 07. 加工		実績		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		
		計画	0													<u> </u>	
		実績														<u></u>	
		計画	0													<u> </u>	
		実績														<u></u>	
			0														
		実績														<u></u>	
			0														
		実績															
月別実施状況評価(良い5点、ま			11点)	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0		
達成率及び実施状況	の全値	本評価			10.0			10.0			10.0			10.0			
理責任者:評価方法 :成度5点+実施状況5点=10点満点 良い 8〜10点 まあまあ 5〜7点 悪い 2〜4点				達成手段分にでき		組みは十	達成手段分にでき		組みは十	達成手段分にでき		組みは十	達成手段分にでき		組みは十		
評価7点以下の場合には、見 次期へ反映する。	でである。 では、是正・対策を行い、 関へ反映する。																

令和3年度 廃棄物排出抑制·適正処理

						3	実施計画]及び実績	漬·評価								
達成手段		区分	1	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	備	考
		計画	Ī	-	ı	-	-	-	ı	-	-	-	-	-	-		
発生量の抑制は困難であるが、適正に処理するよう		累計計	画	1	ı	-	-	-	ı	-	-	-	-	-	-		
努める。		実績	Ę	0	0	0	8.67	0	15.88	11.44	0	17.75	0	1	3.91		
		累計実	績	0.00	0.00	0.00	8.67	8.67	24.55	35.99	35.99	53.74	53.74	54.74	58.65		
							1			1		1		1			
月別評価(100%以上5点、80~99																	
累計評価(100%以上5点、80~99																	
1. 作業員へのゴミの分別		計画	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
指導の実施		実績		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		
2. 発生産業廃棄物全量中間処理業者へ運送・リサイ	-		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
クルへ貢献		実績		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		
3. 全管理票に数量記載	_	計画	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
0. 工日经济区外至此载	:	実績		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		
4. 原則自社運搬のため	1	計画	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
A. C2. D. E票保管		実績		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		
5. 回収照合欄に全管理票	į	計画	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
必要事項記載		実績		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		
6. 定期的な処理業者への	i	計画	0		0		0		0		0		0		0		
実施確認		実績		5			5			5			5				
	į	計画	0														
		実績															
	i	計画	0														
		実績															
		計画	0														
		実績															
	i	計画	0														
		実績															
月別実施状況評価(良い5点、まあ			1点)	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0		
	達成率及び実施状況の全体評価				5.0			5.0			5.0			5.0			
理責任者:評価方法 成度5点+実施状況5点=10点満点 良い 8~10点 まあまあ 5~7点 悪い 2~4点			達成手段分にでき		組みは十	達成手段分にでき		組みは十	達成手段分にでき		組みは十	達成手段分にでき		組みは十			
評価7点以下の場合には、是正 次期へ反映する。	価7点以下の場合には、是正·対策を行い、 期へ反映する。																

環境経営計画

令和3年度 循環型社会へ資源の有効利用・地域コミュニケーション・自社施工の改善

	l	Þ	☑分	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	備	考
達成手段	担当		<u>-//-</u> 区分			-/.	-77		-7.	-7.			-,,		,	p112	
ペットボトルキャップ回収		計画	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
(途上国用・ワクチンへ)	笹川英治	実績	g	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		
アルミプルタブ回収		計画	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
(車いすへ)	笹川英治	実績	g	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
アドプト事業	全 員	計画	0					〇(7人)				〇(7人)		〇(7人)			
(4月・8月・10月)	土 只	実績						O(7人)				O(7人)		O(7人)			
徳島県道路清掃	全 員	計画	0					O(7人)	O(7人)			O(7人)	O(7人)		O(7人)		
166 后 元 旦 的 月 市	王貝	実績							〇(7人)				O(1人)		0(1人)		
1. グリーンマークの商品の優		計画	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
先購入		実績		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		
2. トナー・カートリッジのリサ		計画		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
イクル		実績		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		
3. コピー用紙の両面使用		計画		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
0. 马巴 ////战0/阿田汉///		実績		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		
4. 使い捨て容器の使用や購		計画		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
入を抑制する		実績		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		
5. 県産材の間伐材使用の立		計画		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
て看板採用		実績		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		
6. 上記、型枠採用		計画		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
o. 2100 211 javii		実績		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
7.自然との調和・景観の保全		計画		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
THE STATE OF THE S		実績		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		
8.資材の余分を抑制する		計画		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
=	-	実績		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		
				_			_		_	_	_		_	_			
月別実施状況評価(良い5点、ま	めまめ	3点、港	い(点)	4	4	4	5	5 5	5	5	5 5	5	5	5 5	5		
全体評価				法武手印		4月 ユロナセン	法式手段	っ とへの取り	4F Z1 (+ ±)	法战手的	-	組むけむ	達成手段	-	組むけせ		
^{育理} 責任者∶評価 √ケ月間毎に進捗評価、 採題面を解決し次期へ反映。				おむねで の型枠に	きている。 :ついては	県産材 転用回数	おむねて の型枠に	さいながら さている。 こついては もあり利用	県産材 転用回数	おむねで の型枠に	きている。 :ついては	. 県産材	おむねで	きている。 :ついては	県産材 転用回数		
評価3点以下の場合には、是正・対策を行い、 欠期へ反映する。																	

環境経営目標 CO2排出量 △3.0%(毎年△1.0%) 中期3カ年計画(令和4年度~令和6年度)及び実績・評価

承	認	作	成
笹川	英治	笹川	英治

					目標					目的(方針の到達点)			
	CO2排出量削減 取組事項 (負荷の自己チェック)		令和3年度実績 (基準)		令和4年度			令和5年度		令和6年度			
					目標	実績	評価	目標	実績	評価	目標	実績	評価
電力排出係数 =0.408	①電力	消費量	192.60	kWh	190.67		#DIV/0!	188.75		#DIV/0!	186.82		#DIV/0!
令和3年度実 績 調整後排出係	②灯油	消費量	721.25	Q	714.04		#DIV/0!	706.83		#DIV/0!	699.61		#DIV/0!
数	③軽油	消費量	6,182.43	Q	6,120.61		#DIV/0!	6,058.78		#DIV/0!	5,996.96		#DIV/0!
	④ガソリン	消費量	4,990.95	Q	4,941.04		#DIV/0!	4,891.13		#DIV/0!	4,841.22		#DIV/0!
					29,110.13			28,816.08			28,552.04		
	計	CO2排出量	29,404.17	kg-CO2	年度達成率	#DIV/0!		年度達成率	#DIV/0!		年度達成率	#DIV/0!	
					基準達成率	#DIV/0!		基準達成率	#DIV/0!		基準達成率	#DIV/0!	
		産業廃棄物	97	7%	100%			100%			100%		
	廃棄物の発生 の抑制 適正処理	一般廃棄物	95	5%	96.0%			97%			98%		
		産業廃棄物 発生量	58.	65t	58.06t			57.48t			56.32t		
	資源の有 (ペットボトルの		10	10%	100%			100%			100%		
	資源の有効利用 (出来形社内管理規格値80%) アドプト事業 県産材間伐材の購入 (徳島県発注工事) エ事現場の自然との調和環境保全 (対象工事全て)			6%	100%			100%			100%		
			3		3回			3回			3回		
			10%		100%			100%			100%		
				10%	100%			100%			100%		
管責者 評価		評価 反省と次年度への反映事項 遠底主 ×悪い 79%以下 ムまあまあ 80~99% ○良い 100%以上 当面の目標は、○評価。 低ですシステム適用を根付かせ、中期 3ケ年で達成すること。		総合評価			総合評価			総合評価			
		, ,,,,											

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無

2021年12月~2022年11月 当社の事業活動に適用される主な環境関連法規等は、以下の表のとおりです。 環境関連法規等の遵守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。 また、関係当局より違反等の指摘は過去3年間ありませんでした。

評価	2022	年12月1日	特定	202	0年12月1日		
承認			承	認	作成		
笹川	英治		笹川	英治	笹川	英治	

ΝО	建設業:遊	適用する環境関連法令	順守事項	文書·記録	監視測定·順守評価 令和3年12月1日	評価 〇×		
1	環境基本法 習則はないが事業者 として順守すること		①公害防止自然環境の適切保管③廃棄物適正処理④廃棄物負荷低減3R ⑤国・自治体施策に協力	エコアクション21教育 訓練記録	社長等に勉強会実施。			
2	廃棄物		未回収戻 り票の報 未回収時遅れの理由及び対策を県知事へ報告 告	法違反・報告書	未回収なし確認	0		
-	処理法		管理票交 付状況報 告書 告書	指定報告書	報告確認	0		
3	土木請負額500万以 上 解体 80m2以上 みが後 1億円以上 新築増築 500m2以 上		①分別された廃棄物の再資源化・リサイクル化②特定建設資材 コンクリート(プレキャスト鉄板・コンクリート晩を含む)木材・アスファルト・コンクリート	エコアクション21教育 訓練記録	工事ごと適正確認	0		
			③発注者へ計画等説明・完了報告による説明等	説明会記録	工事ごと適正確認	0		
5	建設業法	丸投げ禁止	公共工事の仕事であり経営からも丸投げなし	営業・施工計画	該当なし	0		
17	オフロードミ	オフロード建設車両の 使用規制(特定特殊自 動車排ガス等に関す る法律)	事業者は基準適合した自動車を使用すること。但し施行前に制作された車両は除く。①ブルドーザ②クローラクレーン③パックホウ(クローラ型)④トラクタショベル(ホイール型)⑤トラクタショベル(クローラ型)⑥連続式パケット掘削機⑦杭打ち機・杭抜き機⑧アースオーガー⑨タワアークレーン⑩ドリルジャンボ。不適合車の使用者は、30万円罰金					
21	浄化槽法	水質汚濁防止	業者保守点検・清掃い及び法定点検	点検記録	点検済	0		
23	森林業基本	自然環境保護	工事完成後、緑地帯の保護及び緑化の促進	工事日誌	実施済	0		
24	火薬類取締	建設工事公衆災害防止	対策要綱 予め県担当者打合、近隣住民へ連絡	購入量記録	該当なし	0		
29	改正 省エネ法	エネルギー使用量削減	国家目標としてCO2排出量削減、2020年までに∆25%。当社は省エネ 法を自主的にEA21活動取組みとして地球温暖化防止に貢献する。	エコアクション21・CO 2削減計画書	EA21にて取組	0		
33	徳島県生活	5環境保全条例	この一覧表で対応。			0		
37	監督官庁へ各種届出・ 必要な有資格 7 労働安全 衛生法		●労働安全衛生法規則・クレーン安全規則等 ●近な技能講習:作業主任者(地山掘削・土留め支保工・型枠支保工組立・足場組立等) ●就業制限に係る技能講習:移動式クレーン(5t未満)・ガス溶接・フォークリフト運転(1t以上)・玉掛け(1t以上)・車両系建設機械の運転(3t以上)・高所作業者運転(10m以上) ●就業制限特別教育:5t未満クレーン運転業務・1t未満フォークリフト運転業務・1t未満の五掛け業務・ホイスト運転業務・アーク溶接業務 ●就業規則に係る免許:移動式クレーン運転士(5t以上)・クレーンデリック運転士等	法関連一覧表 施工届出 工事日誌	有資格者確認	0		
			●現場代理人に必要な資格類は、有資格一覧表に示す。		有資格者確認	0		
		労働安全衛生 管理体制の整備	総括安全衛生管理者 衛生管理者					
			安全管理者					
			安全衛生推進者 産業医			<u> </u>		
			労働安全衛生委員会					
43	フロン排出 抑制法	第1種特定機器の点検	建設機械のエアコンの簡易点検の実施 記録簿は回収業者へ引渡した日から3年を経過するまで保存 売却した場合記録簿は売却相手に引き渡す	点検·整備記録簿	点検実施	0		
44	徳島県脱炭	! 素社会の実現に向けた気	第19条 環境マネジメントシステムの導入	エコアクション21・環	EA21にて取組	0		
44	候変	医動対策推進条例	第20条製造等における温室効果ガスの排出の抑制	境活動計画		0		

代表者による全体の取組状況の評価及び見直し・指示

■令和4年12月1日 代表取締役 笹川 英治

■PDCAサイクルで、最も重要である。

	川 英石		■PDCAサイクルで、最も里要である。			
	成果・実績のインプット情報					
①教育訓練状況と結果(人材育成の観点) 教育訓練は十分にできていると考えられる。教 ない教育を心掛ける。	育内容にも工夫を凝らし、飽き	③法令遵守の定期的評価結果 違反は一切無かった。				
②目標、活動計画の進捗度及び結果		④経営システムの実施状況・機能しているか				
・電力使用の削減		PDCAサイクルの有効性				
一年間を通して電力の削減は目標を達成できた 量の増加が原因と考えられる。	なかった。冬季の暖房の使用	PDCAサイクルは有効に働いていると考えられる。				
・燃料使用量の削減 重機使用増加に伴う軽油の使用量の増加は性	一年 トーかたかいレネラこれる	 	加署			
単低度用量加に円り軽油の使用量の増加は性 が、アイドリングストップには継続して取り組んで		⑤問題点の是正処置・予防処置 今期においては、問題点はなかった。				
・廃棄物分別の徹底 産業廃棄物は適正に処理できている。		⑥利害関係者の意見・要望事項 監督官庁及び周辺 住民からの指摘、苦情、訴訟等はありませんでした。				
		○田辺珠辺の赤ル 火牡1-1	L.(1) 丢 而 k生 42			
・コピー用紙の使用量の削減 両面印刷、印刷プレビューの再確認により無駄 の利用も十分にできている。	な使用は無くなっている。裏紙	⑦周辺状況の変化・当社にとり重要情報 新型コロナウイルスとの向き合い方は変わりつつある。前年度に引き続き材料費の高騰により経営に及ぼす影響は大きい				
・ボランティア活動		⑧緊急事態への準備対応手				
アドプト事業は目標通り実施できた。地元のグル 活動ができている。	ループとも協力し、ボランティア 	問題なく訓練を実施するこ	とができた。 			
9全体の評価						
電力の削減こそ達成できなかったが、燃料 れる。新しいものを取り入れながら、生産性			入により燃料の消費量も減っていると考えら			
	EA21 EN	MS(社長)				
EA21成果の『妥当性』	EA21成果 <i>0</i> .)『適切性』	EA21成果の『有効性』			
	年度単位での達成率にばらいては適切である。	うつざはめるか、成未にう	EA21の取組の有効性は大である。			
	継続的改	善(社長)				
環境経営方針	環境経営目標・		経営管理システム・実施体制			
継続する。	中期三ヵ年計画の目標を達 今後も継続的に取り組んで 次期三ヵ年計画を作成し取	成することができている。 いく。	杭ナビの導入により、現場と事務所の移動が少なくなったこともあり、ガソリンの使用量も削減できている。生産性の向上とCo2発生量の削減が両立できており、経営的にも良好である。			
	改善・指示に対する対策	策と周知(管理責任者)				
環境経営方針	環境経営目標・		経営管理システム・実施体制			
継続する。	電力・燃料の削減にこれが EA21の取組が、工事の品質 んでいく。	らも取り組んでいく。	資材・燃料の高騰による影響は経営に大き く影響を与えるため、単価スライド等、適正 な単価への移行を発注者に求めていく。			